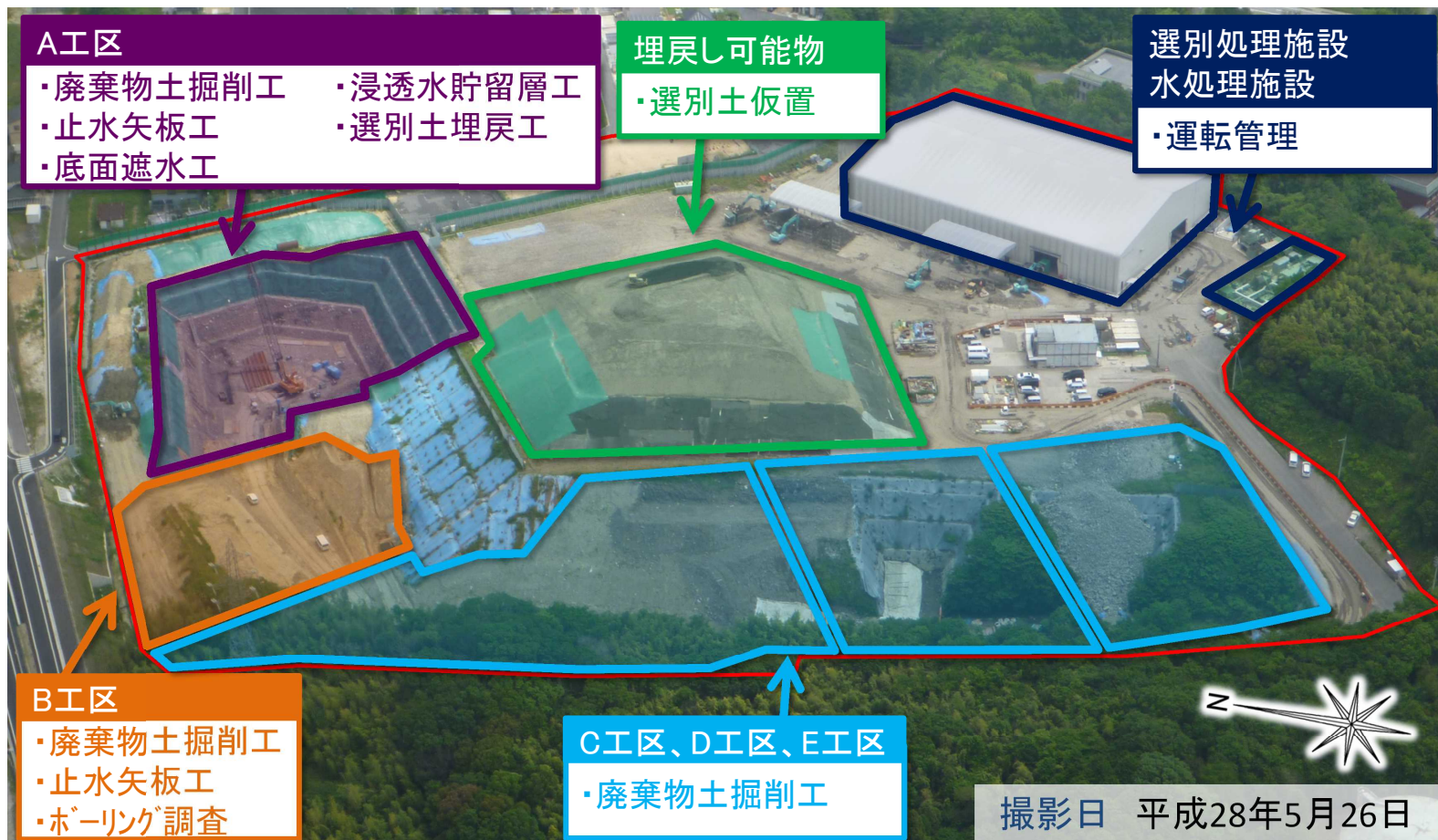


第18回旧RD最終処分場問題連絡協議会

工事等の進捗状況について

平成28年12月22日

平成28年度の工事施工箇所について



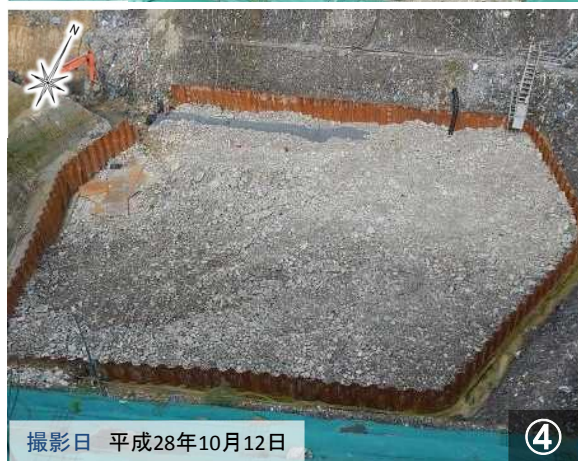
平成28年度 工程表

		実績												計画			
工種	単位数	年数	月量	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	H29.1月	2月	3月		
				15	30	15	31	15	30	15	31	15	30	15	30	15	31
A工区	廃棄物土掘削工	式	1.0	矢板施工基面まで掘削				地山まで掘削									
	止水矢板工	式	1.0	止水矢板の打設													
	底面側面遮水工	式	1.0	4月23日 見学会		8月1日 見学会		底面遮水工				B工区掘削中 見学会(予定)					
	浸透水貯留層工	式	1.0						浸透水貯留層工								
	選別土埋戻工	式	1.0						選別土埋戻し・選別土仮置き								
B工区	廃棄物土掘削工	式	1.0	進入路掘削			進入路掘削			矢板施工基面まで掘削							
	止水矢板工	式	1.0											止水矢板の打設			
	ボーリング調査	式	11.0			ボーリング調査(8本)						ボーリング調査(3本)					
C工区等	廃棄物土掘削工	式	1.0	C工区等掘削													
工事全体	選別土仮置・盛土	式	1.0	選別土仮置き													
	選別処理施設	式	1.0	運転管理													
	キャッピング工	式	1.0														

A工区の状況

進捗内容

- ・ 廃棄物土掘削、止水矢板工、底面遮水工、底面排水工、浸透水貯留層工が完了
- ・ 選別土で埋戻し中



施工写真

- ① 廃棄物土掘削 完了
 - ② 底面遮水 施工
 - ③ 底面排水管 敷設
 - ④ 浸透水貯留層 造成
 - ⑤ 選別土 埋戻し
- (○ : ガス抜き管)

底面排水工の設置状況

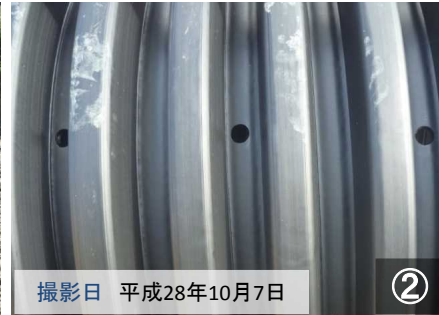
進捗内容

- ・揚水ピットへ浸透水の流入を促進するもの
- ・直径800mmの有孔ポリエチレン管を貯留層内に設置



撮影日 平成28年10月7日

①



撮影日 平成28年10月7日

②

施工写真

- ① ポリエチレン管
- ② 管の孔
- ③ 設置状況
- ④ A工区内の埋設位置
(■■■ :埋設位置)



撮影日 平成28年10月4日

③



撮影日 平成28年10月17日

④

4

(第17回旧RD最終処分場問題連絡協議会 資料3-1より)

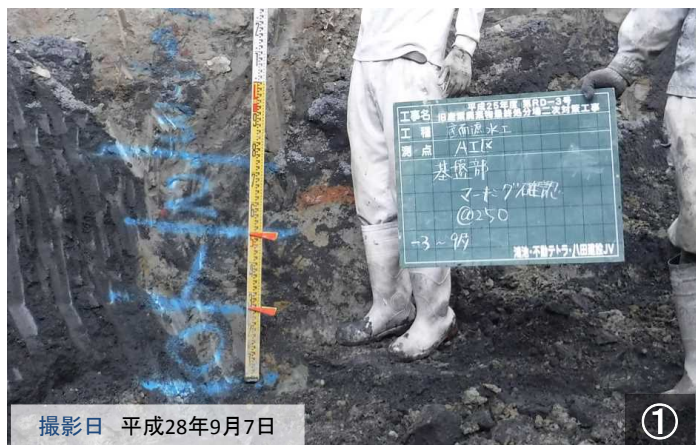
「底面遮水工の施工方法」に対する アドバイザー意見と県の対応について

協議事項	アドバイザー意見	県の対応
底面遮水工の 施工方法に ついて	<ul style="list-style-type: none"> ・現場での締固め等の品質管理をしっかりと行い、施工する。 (大嶺先生、大東先生) ・しっかりと締固めを行い、施工すること。 (樋口先生、梶山先生、小野先生) ・施工時には水を十分切るなど、注意して施工する必要がある。 (大東先生) 	<ul style="list-style-type: none"> ・基盤材施工時に掘削面から湧水が生じる場合には、排水材として碎石を敷均すとともに、排水ポンプで水替えを行い、湧水が基盤材に影響しないように施工する。 ・基盤材は1層30cm以内で締固めを行い、現場密度試験を行い、締固めの品質確認を行う。 ・底面遮水工は1層25cmの厚さで締固めを行う。施工後、現場密度試験や透水試験を行い締固め等の品質確認を行う。
	<ul style="list-style-type: none"> ・クラック等が発生した場合等のモニタリングの方法を検討しておいたほうが良い。 (梶山先生) 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的モニタリングを含め、大きな地震が発生した場合には、下流側の観測井戸等で地下水の状況を確認し、周辺環境への影響を監視する。

5

底面遮水工の実施状況 ①

(A工区)



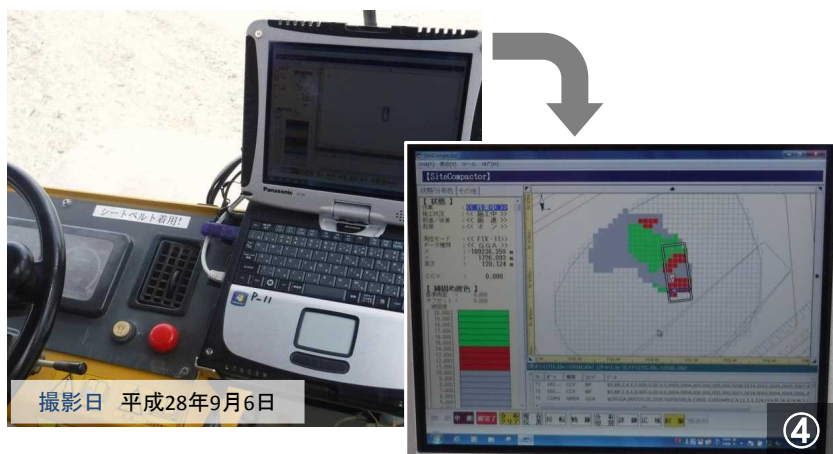
締固めの品質管理

- ① 撤出し厚さを30cm以下で管理するため事前にマーキング
(基盤材・底面遮水工ともに25cmで管理)
- ② マーキング位置に合わせて撤出し
端部は人力によって整正
- ③ 重機(10t振動ローラ)で締固め



底面遮水工の実施状況 ②

(A工区)



締固めの品質管理

- ④ GPSとCCV(地盤の剛性値)評価により締固め状況を平面的に管理
- ⑤ 現場密度試験により締固め度を測定
⇒管理基準値90%以上に対して96%であった
- ⑥ 透水試験により透水係数を測定
⇒基準値 $1.0 \times 10^{-6} \text{cm/s}$ 以下に対して $6.1 \times 10^{-9} \text{cm/s}$ であった(セメント改良部)

